

資料 2
(保健所運営協議会)

令和 5 年度おおつ保健医療プラン 2019（第 3 期大津市保健医療基本計画）専門部会の会議結果

- 1 開催日時 令和 5 年 8 月 30 日（水）14 時 00 分から 15 時 30 分まで
- 2 開催方法 会場（大津市ふれあいプラザ大会議室）
- 3 出席者 委員 9 人
 会長 大津市医師会 大森委員
 副会長 梅花女子大学 原田委員
 大津市薬剤師会 安孫子委員
 全国健康保険協会滋賀支部 奥野委員
 大津市訪問看護ステーション連絡協議会 上林委員
 滋賀県がん患者団体連絡協議会 菊井委員
 大津市歯科医師会 小金澤委員
 大津市健康推進連絡協議会 小林委員
 大津市食品衛生協会 佐藤委員
 （欠席 滋賀県健康医療福祉部医療政策課 切手委員）
- 4 事務局 保健所長、保健所次長、保健所専門員、長寿政策課、保健総務課、地域医療政策課、保健予防課、衛生課、健康推進課、子ども発達相談センター
- 5 議題
 - （1）【審議】令和 4 年度アクションプランの評価について
 - （2）【審議】令和 5 年度アクションプランについて
 - （3）【審議】第 4 期大津市保健医療基本計画の策定について

6 会議概要

議事録は、本市ホームページにて公開し、また、市政情報課にて閲覧に供しています。なお、質疑応答の概要は以下のとおりです。

（1）議題 1 令和 4 年度アクションプランの評価について

質疑（委員）	応答（事務局）
健康推進員養成講座の受講者の減少について	引き続き地域で活躍していただける方を増やすため検討していく。
一般介護予防講座受講者数の減少について	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値に達しなかったが、他事業においてフレイル予防研修会を開催した。
高齢者ハイリスクアプローチの実施状況について	企業と連携し、市民が利用しやすい介護予防教室を開催した。個別対応としては、専門職を配置し充実を図っている。
認知症初期集中支援チームによる支援ケース数の減少について	専門職の確保が難しいため、減少となった。地域包括支援センターと連携しながら初期の対応にあっている。

質疑（委員）	応答（事務局）
認知症カフェ数の今後の見通しについて	目標とするカフェ数を含め、全般を検討していく。
健康いきいき講座実施回数の減少について	コロナ禍により市民の活動が減少したことが影響した。
精神保健の対象者について	市の各部署が連携し、各世代の様々な背景の市民に対応できる体制となっている。
がん検診率の受診率の算出方法について	市民意識調査、企業調査等も活用し、総合的に受診状況を把握し、がん対策に努めていく。

(2) 議題2 令和5年度アクションプランについて

質疑	応答
働く世代への支援として実施する「事務所向け研修会における啓発」に対する予算が大幅減となっていることについて	令和4年度は支援事業所について基準を満たした場合に奨励金を交付した。令和5年度はこの事業の評価を行うため、減となった。
食品衛生監視指導件数が目標を達成していないことについて	改正法の影響により、事業者に対し、きめ細かい対応を行っていることが影響した。
難病・精神保健の従事者研修会の課題について	関係団体が直面する課題を把握し、困難事例の共有や、制度自体の説明会等を実施することにより、内容を重視した研修会としている。
子宮頸がんの検診受診率の向上について	従来への周知に加え、今年度は教育委員会と共同で若い世代へのプレコンセプションとして啓発する予定をしている。
医薬品の乱用に対する取り組みについて	職員の研修会への参加や医療機関との連携を通じ、市民からの相談に応じていく。また、他の関係団体とも連携していく。

(3) 議題3 第4期大津市保健医療基本計画の策定について

質疑	応答
第4期大津市保健医療基本計画策定専門部会の開催時期について	骨子案や計画素案を作成した時点でご審議いただく予定をしている。

(4) 閉会